

地域志向研究概要報告書（別紙）

所属・職：合同会社 J-doc company 代表社員

氏名：影山 貴大

研究課題：地域の多様な人材をコーディネートする能力を育てる教育メソッドの開発
～松戸市・鎌ヶ谷市・市川市における地域トランスメディアエイトの創出～

1. 研究実績・成果の概要

本研究の目的は、「地域の多様な人材をコーディネートする能力を育てる教育メソッドの開発」である。実証的研究（聞き取り調査など）として地域でコーディネーターとして活躍している人材へのヒアリングや本研究の申請者でもある影山自身の地域での実践例から育成に必要なスキルセット（技能）やマインドセット（思考法）の抽出を行った。

毎月1回以上のヒアリング調査の他、抽出したスキルセットやマインドセットにのっとっての、千葉商科大学生によるまちづくりサークルに対する相談対応や千葉県印西市における地域づくりメディアエイト養成講座の実施なども行った。

ヒアリングや講座実施に際して、既存の中間支援人材であるコーディネーターの特性との差別化やまちづくりの現場におけるトランスメディアエイト（以下メディアエイト）の必要性、そして本研究のアドバイザーでもある朽木教授の専科である政策情報学の視点でのメディアエイトの必要性などを体系的にまとめ、説明を実施した。

結果として、印西市での講座受講生が自らメディアエイト団体を立ち上げ、地域の中間支援組織として動き出すという成果も見られた。

こうした一連の動きからの成果をまとめた冊子の作成を行い、来年度以降の研究に活用していく予定である。

本研究は非常に抽象度が高く、かつ概念的な要素が多分に含まれるため、今だ効果的なメソッドが確立されたとは言い難いが、今後も各地での講座等の実施を経て、より明確な成果の見える化とメソッドの確立を目指していきたい。

2. 著書・論文・学会発表等記録

著書

- ・ 謙虚なコンサルティングクライアントにとって「本当の支援」とは何か
英治出版（2017/5/17）エドガー・H・シャイン
- ・ アメリカ大都市の死と生
鹿島出版会；新版（2010/4/7）ジェイン ジェイコブズ
- ・ U理論——過去や偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み出す技術
英治出版（2010/11/16）C オッター シャーマー
- ・ 思考 日本企業再生のためのビジネス認識論

学研パブリッシング (2013/11/26)井関 利明 山田 眞次郎

- カタツムリの知恵と脱成長～貧しさと豊かさについての変奏曲～
コモンズ (2017/12/11)中野 佳裕
- 戦略を形にする思考術: レゴ(R)シリアスプレイ(R)で組織はよみがえる
徳間書店 (2016/7/29)ロバート ラスムセン , 蓮沼 孝 , 石原 正雄
- 風土の日本—自然と文化の通態
筑摩書房 (1992/9/1)オギュスタン ベルク
- コンヴィヴィアリティのための道具
筑摩書房 (2015/10/7)イヴァン イリイチ

学会発表

第 13 回政策情報学会

「政策情報学に基づくコンヴィヴィアルな地域社会の顕現：地域の多様な人々を繋ぐトランスメディアエイターの創出」にて発表、千葉商科大学、2017年12月2日

3. 研究実績と経費の関連

実証的研究に関わる交通費や消耗品等、適正に使用した。

4. その他の特筆すべき事項

- 「地域の多様な人材をコーディネートする トランスメディアエイターの創出」小冊子作成
- 2018年の印西市 地域づくりメディアエイター養成講座にて本研究をもとに講座を実施予定